

第 1 3 号議案 令和 8 年度長崎市一般会計予算

目次

1	職員研修費	2 ページ
2	常備災害防御費	3 ページ
3	救急業務費	4 ページ
4	通信指令費	5 ~ 6 ページ
5	火災予防費	7 ページ
6	市民防火組織等活動推進費	8 ページ
7	団員報酬	9 ページ
8	団員確保対策費	1 0 ~ 1 1 ページ
9	【補助】消防施設整備事業費 消防庁舎改修	1 2 ページ
10	【単独】消防施設整備事業費 消防庁舎改修	1 3 ページ
11	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設	1 4 ページ
12	【単独】消防施設整備事業費 防火水槽整備ほか	1 5 ページ
13	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	1 6 ページ
14	債務負担行為設定 消防ポンプ自動車購入 小型動力ポンプ積載車購入	1 7 ~ 1 8 ページ

消 防 局  
令 和 8 年 2 月

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
260～263	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-1	職員研修費	千円 22,979

## 1 概要

消防職員として必要な知識や技術を習得するため、消防学校等への入校や各種研修へ派遣するとともに、業務に必要な資格取得と、火災等の災害に対応できる職員を育成するもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
消防学校等入校	・長崎県消防学校 初任科等入校(36人) ・消防大学校 予防科等入校(3人)	13,155千円 971千円 14,126千円
資格取得	・救急救命士資格(1人) ・ドローン講習(3人) ・大型自動車免許、重機特別教育等(22人)	2,245千円 540千円 1,190千円 3,975千円
研修派遣	・総務省消防庁職員派遣(1人) ・各種研修会等派遣(21人) ・救急救命士再教育(40人)	1,815千円 1,699千円 448千円 3,962千円
研修に係る その他経費	・消耗品等 ・その他諸経費	426千円 490千円 916千円
合計		22,979千円

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 22,979	千円 -	千円 -	千円 -	千円 4,371	千円 18,608

※ 消防事務委託町負担金 4,371千円

## 3 消防学校入校・資格取得等

概要

【長崎県消防学校 初任科】



【ドローン講習】





【重機特別教育】



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
260~263	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-3	常備災害防御費	千円 55,282

## 1 概要

火災や救助などの災害対応を行うため、災害防御活動や関係機関との合同訓練の実施を行うとともに、消防資機材の維持管理を行うもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
災害防御活動 や合同訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に伴う消防車両等の燃料費 33,560千円</li> <li>装備品及び消耗品の購入 16,379千円</li> <li>派遣に伴う旅費及び食料品の購入等 1,182千円</li> <li>有料道路通行及びフェリー利用料等 762千円</li> </ul>	51,883千円
消防資機材 の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>装備品及び資機材の検査及び手数料等 3,399千円</li> </ul>	3,399千円
合計		55,282千円

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他※3	一般財源
千円 55,282	千円 2,147	千円 11,150	千円 -	千円 10,464	千円 31,521

※1 緊急消防援助隊活動費・国際緊急援助業務等負担金 2,147千円 ※2 長崎県石油貯蔵施設立地対策等交付金 11,150千円  
 ※3 消防事務委託町負担金 10,449千円、国際消防救助隊員ワクチン接種補助金 15千円

## 3 現場活動と合同訓練

概要	
<p>【火災対応】</p>  <p>【県防災ヘリとの林野火災訓練】</p> 	<p>【救助対応】</p>  <p>【海上保安部との救助訓練】</p> 

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
260～263	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-4	救急業務費	千円 26,390

## 1 概要

救急業務を適確に行うため、応急手当講習やマイナ救急及び救急安心センター事業(#7119)等の普及啓発を行うとともに、必要な救急用資器材等の購入を行うもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
応急手当講習やマイナ救急等の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報に係る普及啓発グッズ等の購入 584千円</li> <li>・救急の日イベントに係る会場借上げ等 300千円</li> <li>・マイナ救急通信料 800千円</li> </ul>	1,684千円
救急業務用資器材等の購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急処置資器材、消耗品の購入 19,511千円</li> <li>・自動体外式除細動器(AED)購入 2,100千円</li> </ul>	21,611千円
救急活動に係るその他経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士気管挿管病院実習等 3,095千円</li> </ul>	3,095千円
合計		26,390千円

## 3 広報等

概要	
<p>【救急の日イベントの様子】</p> 	<p>【広報用チラシ】【普及啓発グッズ】</p>  <p>文具 キーホルダー</p>

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
千円 26,390	千円 -	千円 1,702	千円 -	千円 7,268	千円 17,420

※1長崎県石油貯蔵施設立地対策等交付金 1,702千円

※2消防事務委託町負担金 4,574千円、高速自動車道支弁金など 2,694千円

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
260～263	9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	3-6	通信指令費	千円 125,036

## 1 概要

119番受信業務、災害現場への出動指令及び情報管理を行うため、総合消防情報システムや消防救急デジタル無線の運用・維持管理等を行うもの。

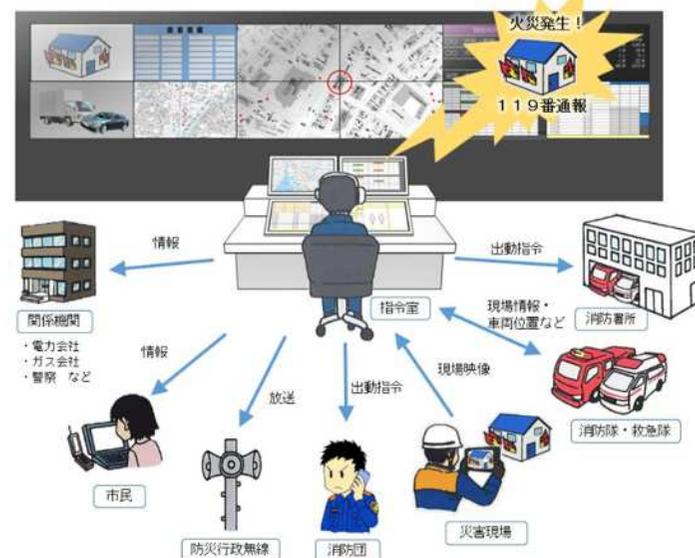
## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
【拡大分】 映像通報システム の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム構築業務委託料 750千円</li> <li>・パソコン購入費 600千円</li> <li>・使用料 420千円</li> <li>・広報費 100千円</li> </ul>	1,870千円
運用・維持管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合消防情報システム保守委託 47,010千円</li> <li>・消防救急デジタル無線保守委託 32,000千円</li> <li>・システム通信回線等の使用料 26,191千円</li> <li>・住宅地図ソフトウェア使用料 9,932千円</li> <li>・救急安心センター事業(＃7119)負担金 3,113千円</li> <li>・無線機修繕、消耗品の購入費等 4,920千円</li> </ul>	123,166千円
合計		125,036千円

## 3 119番受信件数

	令和5年	令和6年	令和7年
119番受信件数	46,053	45,036	44,417
【参考】救急出場件数	29,101	29,058	29,297
【参考】火災件数	101	93	96

【総合消防情報システムイメージ図】



【通信指令室】

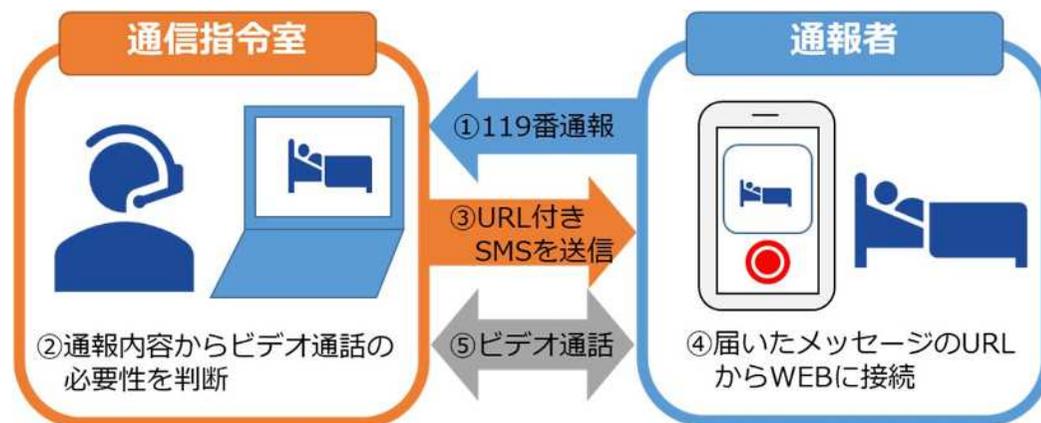
## 4 【拡大分】映像通報システムの導入

### (1) 概要

119番受信時にスマートフォンのカメラ機能を活用して、通報者と通信指令室との間で映像を共有することができるシステムを導入するもの。

### (2) システム使用のながれ

119番通報が通信指令室にあった際に、通信指令室でビデオ通話の必要性があると判断されれば、通報者のスマートフォンにURL付きSMS(ショートメッセージ)を送信し、WEBに接続してもらうことで、通報者と通信指令室とでビデオ通話ができるようになるもの。



### (3) 導入効果

ア 通信指令室から消防隊へ正確な情報を提供することによる効果的な消防活動の実施

イ 緊急の救急事案で、初期対応を実施する市民に具体的なサポートを行うことによる救命率の向上

### (4) 市民への周知

ア 広報ながさきやウェブサイトなどを活用した広報

イ 救急講習などの機会を捉えた模擬通報の体験

### (5) スケジュール(予定)

令和8年9月運用開始

令和8年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約事務				導入・試験運用				運用開始			

## 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
千円 125,036	千円 935	千円 -	千円 600	千円 23,175	千円 100,326

※1 地域未来交付金【デジタル実装型】(補助率50%) 935千円

※2 デジタル活用推進事業債 充当率90%(交付税措置率-) 600千円

※3 消防事務委託町負担金 23,175千円

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
260～263	9 消費	1 消費	1 常備消費	3 - 5	火災予防費	千円 2, 355

## 1 概要

火災予防を推進するため、住宅火災や林野火災などを未然に防ぐとともに、市民の防火意識の向上を図るもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費	
火災予防の啓発活動	・広報費 ・訓練用消耗品の購入	976千円 143千円	1,119千円
火災予防に係るその他諸経費	・事務用品の購入等 ・危険物施設審査委託料	601千円 635千円	1,236千円
	合計		2,355千円

## 3 広報等

概要	
<p>【防火チラシ】</p>  <p>住宅防火診断チェック票</p> <p>令和8年1月1日から運用開始</p> <p>林野火災 注意報・警報</p> <p>林野火災の大半がたき火や火入れなどの人為的な要因によるものであることから、注意報、警報が発令されました！</p> <p>林野火災注意報</p> <p>林野火災警報</p> <p>長崎市消防局</p>	<p>【防火防災訓練の様子】</p> 

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 2, 355	千円 -	千円 -	千円 -	千円 2, 355	千円 -

※ 消防事務委託町負担金 656千円、危険物関連申請手数料 1, 699千円

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～263	9 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	2-1	市民防火組織等活動推進費	千円 8,340

## 1 概要

地域ぐるみで防火防災意識を高めるため、火災予防の研修等を実施するとともに女性防火クラブや少年消防クラブなどの市民防火組織の活性化と結成を促進するもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
火災予防の啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民防火のつどいの開催 419千円</li> <li>・市民防火組織の被服及び研修の消耗品等の購入 1,985千円</li> <li>・防火防災体験資機材の購入 810千円</li> </ul>	3,214千円
防火防災の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防わくわく探検隊(4地区5クラブ)及び消防かるた大会の開催 234千円</li> </ul>	234千円
運営費補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性防火クラブ補助金(204クラブ、27,186人) 4,579千円</li> <li>・少年消防クラブ補助金(24クラブ、1,659人) 313千円</li> </ul>	4,892千円
合計		8,340千円

## 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 8,340	千円 -	千円 -	千円 -	千円 800	千円 7,540

※ コミュニティ助成事業 800千円

## 3 消防わくわく探検隊

### 概要



・少年消防クラブを対象に、消防団や女性防火クラブと連携してまちあるきを行いながら放水や非常食の試食体験などを行う。

## 4 消防かるた大会

### 概要



・少年消防クラブを対象に、「消防かるた大会」を開催し、楽しみながら消防に関する知識を身に付け、防火防災の担い手の育成に取り組む。

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～263	9 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	1 - 1	団員報酬	千円 186,276

## 1 概要

消防団員の年額報酬や災害対応などに従事した消防団員に報酬などを支給するもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
報酬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年額報酬 86,725千円 階級の職責に応じて支給する報酬(70分団、2,267人)</li> <li>・出勤報酬 98,420千円 災害対応や各種訓練研修等に従事した際、支給する報酬</li> </ul>	185,145千円
費用弁償	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県消防学校等の派遣に係る旅費 1,131千円 派遣課程:副団長課程、分団長・副分団長課程、女性消防団員課程 など</li> </ul>	1,131千円
合計		186,276千円

## 3 各報酬の金額

年額報酬	階級	金額(年額)
	団長	82,500円
	副団長	69,000円
	分団長	50,500円
	副分団長	45,500円
	部長	38,000円
	副部長	37,500円
	班長	37,000円
出勤報酬	団員	36,500円
	区分	金額(日額)
	災害対応業務	8,000円
	訓練等の業務	4,000円

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 186,276	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 186,276

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～263	9 消防費	1 消防費	2 非常備消防費	1 - 6	団員確保対策費	千円 32,936

## 1 概要

消防団員の認知度向上と入団促進を図るため、SNS等を活用した消防団活動の広報を展開するもの。また、消防団員が活動しやすい環境づくりのため、消防団協力事業所の拡大を図り、事業所からの協力を通じて消防団員の確保に取り組むもの。

## 2 事業内容

事項名	主な事業内容	事業費
【拡大分】 消防団出動報告管理システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム構築業務委託料 2,816千円</li> <li>・使用料 291千円</li> </ul>	3,107千円
消防団員確保の啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員募集の広報 265千円</li> <li>・消防団協力事業所の広報 161千円</li> <li>・普及啓発グッズの購入 961千円</li> </ul>	1,387千円
運営費補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団運営費補助金 28,442千円 (70分団、2,267人)</li> </ul>	28,442千円
合計		32,936千円

## 3 広報等

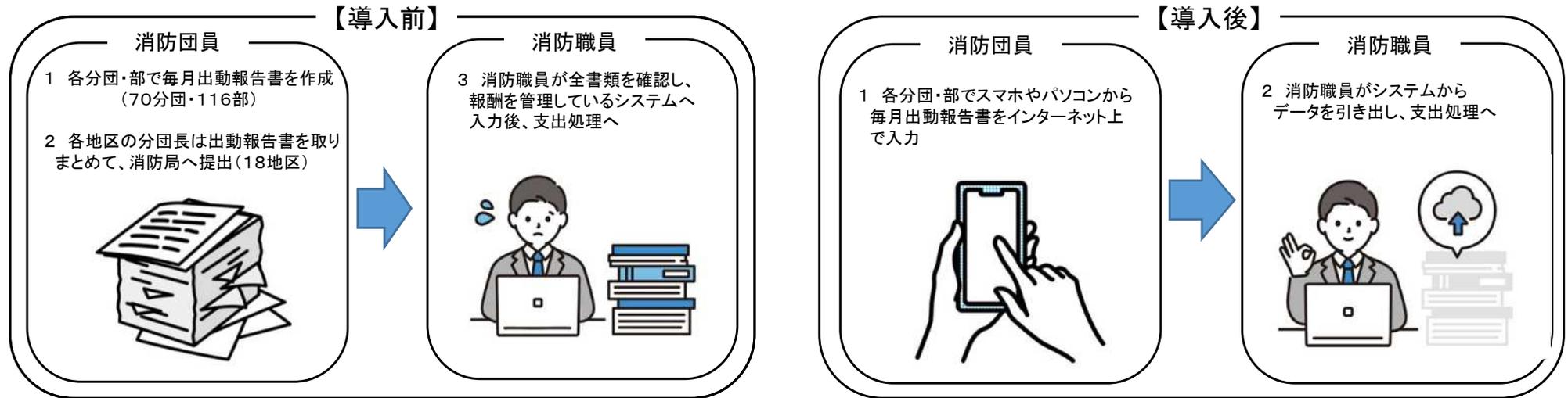
概要
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【消防団員募集の広報】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【消防団協力事業所の広報】</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>【普及啓発グッズの配布】</p> <p>ポーチ  ハンカチ </p> </div> <p>・団員募集及び消防団協力事業所の広報用マグネットシートや普及啓発グッズを配布し、消防団の認知度向上を図る。</p>

## 4 【拡大分】 消防団出動報告管理システム導入

### (1) 概要

消防団員の出動報告を管理するシステムを構築することで、消防団員の事務負担を軽減し、活動しやすい環境を整備する。

### (2) イメージ



### (3) 導入効果

- ア 消防団員の出動報告処理に要する事務作業時間(年間約460時間)の削減
- イ ペーパーレス化に伴う紙使用量(年間5,000枚)の削減
- ウ 消防団事務のDX推進

## 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 32,936	千円 3,106	千円 -	千円 -	千円 -	千円 29,830

※ 消防団の力向上モデル事業(総務省消防庁) 3,106千円

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～265	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	2-1	【補助】消防施設整備事業費 消防庁舎改修	千円 6,500

## 1 概要

施設の適切な維持管理と省エネルギー化を図るため、中央消防署松が枝出張所の庁舎照明をLED化するもの。

## 2 事業内容

施設名 (建築年月)	事業内容	事業費
中央消防署松が枝出張所 (平成16年3月)	照明LED化改修工事 ・庁舎照明78灯をLEDに取替え	6,500千円
合計		6,500千円

## 3 スケジュール(予定)

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	契約事務 → 照明LED化改修工事		

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
千円 6,500	千円 4,300	千円 -	千円 1,900	千円 -	千円 300

※1 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(交付率2/3) 4,300千円

※2 一般補助施設整備等事業債 90%(交付税措置率-%) 1,900千円

## 5 施設の現況等



外観



天井

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～265	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	4-1	【単独】消防施設整備事業費 消防庁舎改修	千円 14,300

## 1 概要

三重地区市民センターと併設している北消防署三重出張所の適切な維持管理を図るため、消防庁舎の改修工事を行うもの。

## 2 事業内容

施設名 (建築年月)	事業内容	事業費
北消防署三重出張所 (平成15年3月) ※ 三重地区市民センター と併設	外壁屋根改修工事 ・外壁：684㎡(全体 3,464㎡) ・屋根：436㎡(全体 1,966㎡) ※ 三重地区市民センターと按分し、北消防署 三重出張所分のみ記載。事業費も同様に按分。	14,300千円
合計		14,300千円

## 3 スケジュール(予定)

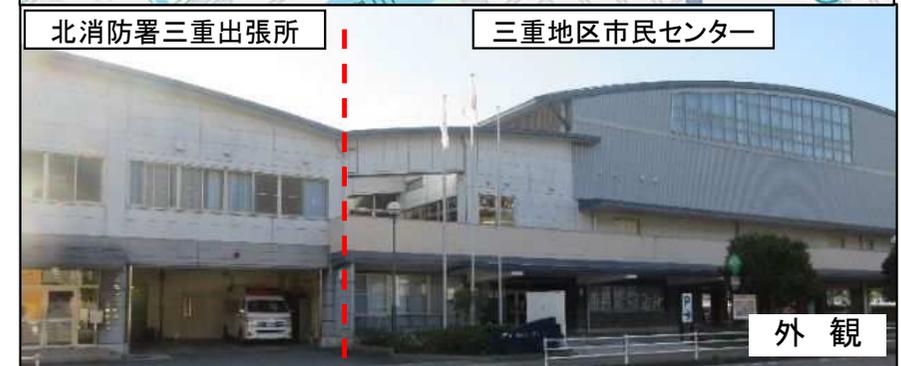
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 14,300	千円 -	千円 -	千円 12,800	千円 -	千円 1,500

※ 公共施設等適正管理推進事業債 充当率90%(交付税措置率30～50%)  
12,800千円

## 5 施設の現況等



外観



外壁

屋根

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262~265	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	4-2	【単独】消防施設整備事業費 消防団格納庫建設	千円 4,200

## 1 概要

老朽化した消防団第17分団格納庫の建替えを進めるため、新築設計業務委託を行うもの。また、建替えに際しては、既存格納庫周辺の交通状況を踏まえ、近接する南消防署敷地内に移転し、消防団活動における安全性を確保するもの。

## 2 事業内容

事項名	事業内容	事業費
消防団第17分団格納庫 新築設計業務委託	新築設計業務委託 ・木造2階建て 約100㎡ ・場所:小ヶ倉町3丁目76-78 (南消防署敷地内)	4,200千円
合計		4,200千円

## 3 スケジュール(予定)

令和8年度				令和9年度			
4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
契約事務 設計業務委託		設計精査 R9予算計上		建設工事			

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 4,200	千円 -	千円 -	千円 3,900	千円 -	千円 300

※ 施設整備事業債 充当率50%(交付税措置率70%) 2,100千円  
一般単独事業債 充当率90%(交付税措置率 - %) 1,800千円

## 5 施設の現況等



既存格納庫の現況  
(建築年月:昭和56年3月)



建設イメージ

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～265	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	4-3	【単独】消防施設整備事業費 防火水槽整備ほか	千円 20,700

## 1 概要

住宅及び林野の火災対策を図るため、金比羅公園の園路整備に合わせて、園路内の駐車場に防火水槽を設置するもの。

## 2 事業内容

事項名	場所	事業費
防火水槽(40t級)	立山5丁目	20,700千円
合計		20,700千円

## 3 スケジュール(予定)

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
契約事務	防火水槽設置工事		

## 4 財源内訳

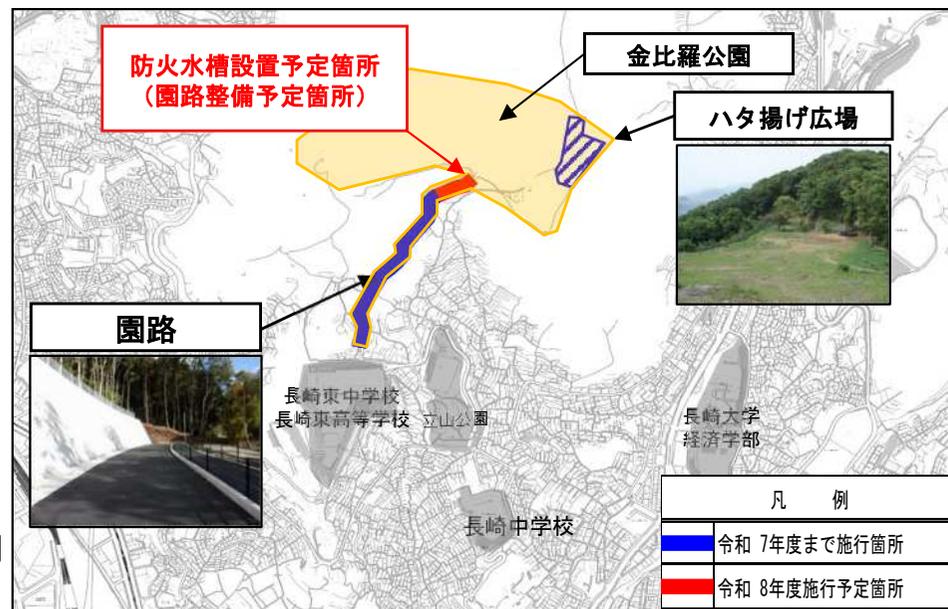
事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 20,700	千円 -	千円 -	千円 20,700	千円 -	千円 -

※ 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率70%) 20,700千円

## 5 防火水槽設置後イメージ



## 6 設置予定場所図



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
262～265	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	3-1	【単独】消防車両等整備事業費 消防ポンプ自動車整備ほか	千円 47,600

## 1 概要

現在、配置している老朽化した消防ポンプ自動車を代替更新するもの。

## 2 事業内容

事項名	数量	配置場所	経過年数	事業費
消防ポンプ自動車 (消防団)	2台	第11分団(寄合町) 第28分団1部(矢上町)	28年 25年	47,600千円
合計				47,600千円

※ 当該消防ポンプ自動車については、令和7年度から令和8年度までの債務負担行為に基づき契約し、完成する令和8年度に事業費を計上するもの。

## 4 スケジュール(予定)

令和7年度				令和8年度			
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
契約事務				製作・納品			
車体調達							

## 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 47,600	千円 -	千円 -	千円 47,000	千円 -	千円 600

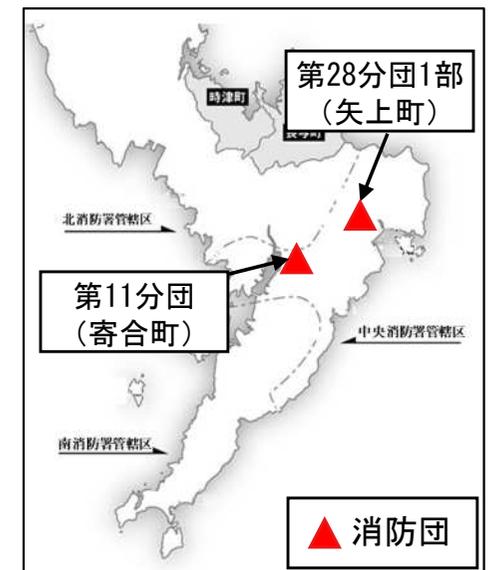
※ 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率70%) 47,000千円

## 3 仕様

車両イメージ

【乗車定員】 10名
【駆動方式】 二輪駆動式、AT車

## 6 配置場所



債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
ページ	事 項		
332～333	消防ポンプ自動車購入	令和8年度から令和9年度まで	千円 47,900
	小型動力ポンプ積載車購入		千円 15,600

## 1 債務負担行為の目的

現在、配置している老朽化した消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ積載車の代替更新を行うにあたり、当該車両の市場の影響から、車体調達や製作において期間を要し、発注から納品までに2年かかる見込みであるため、債務負担行為を設定するもの。

## 2 事業内容

事項	数量	配置場所	経過 年数	事業費
消防ポンプ自動車 (消防署)	1台	北消防署 小江原出張所 (小江原2丁目)	18年	47,900千円
小型動力ポンプ積載車 (消防団)	3台	第28分団2部 (矢上町)	27年	15,600千円
		第30分団2部 (上戸石町)	27年	
		第34分団3部 (茂木町)	23年	

## 3 仕様

### 車両イメージ



【乗車定員】 5名  
【駆動方式】 四輪駆動式、MT車  
【水槽容量】 900L



【乗車定員】 2名  
【駆動方式】 四輪駆動式、AT車

## 4 スケジュール(予定)

年度 事項名	令和8年度				令和9年度			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
消防ポンプ自動車 (消防署)	契約事務・車体調達・製作・納品							
小型動力ポンプ積載車 (消防団)	契約事務・車体調達・製作・納品							

## 5 債務負担行為限度額の年度別内訳

事項名	令和8年度	令和9年度	合計
消防ポンプ自動車 (消防署)	0千円	47,900千円	47,900千円
小型動力ポンプ積載車 (消防団)	0千円	15,600千円	15,600千円

## 6 財源内訳

事項名	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
消防ポンプ自動車 (消防署)	千円 47,900	千円 -	千円 -	千円 47,900 <sup>※1</sup>	千円 -	千円 -
小型動力ポンプ 積載車 (消防団)	千円 15,600	千円 -	千円 -	千円 15,600 <sup>※2</sup>	千円 -	千円 -

※1 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率70%) 47,900千円  
 ※2 緊急防災・減災事業債 充当率100%(交付税措置率70%) 15,600千円

## 7 配置予定場所図

